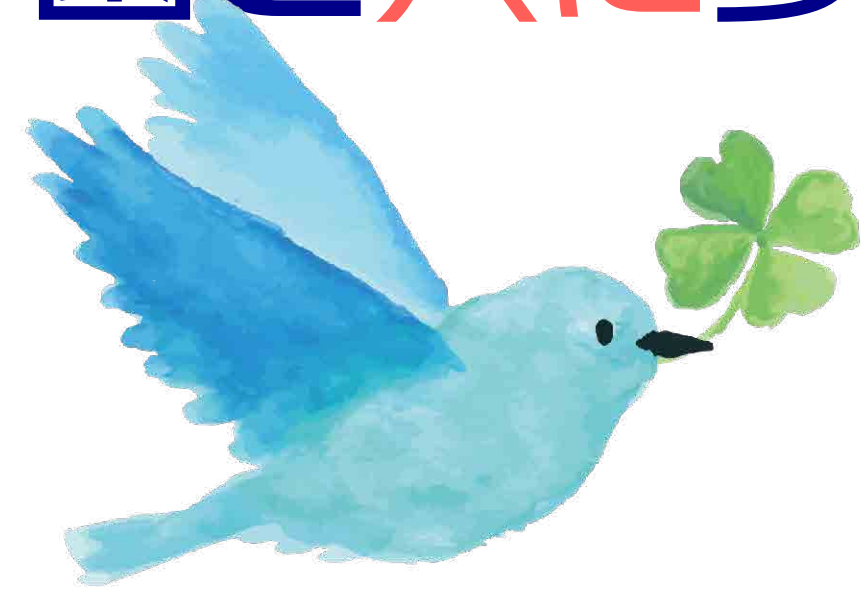


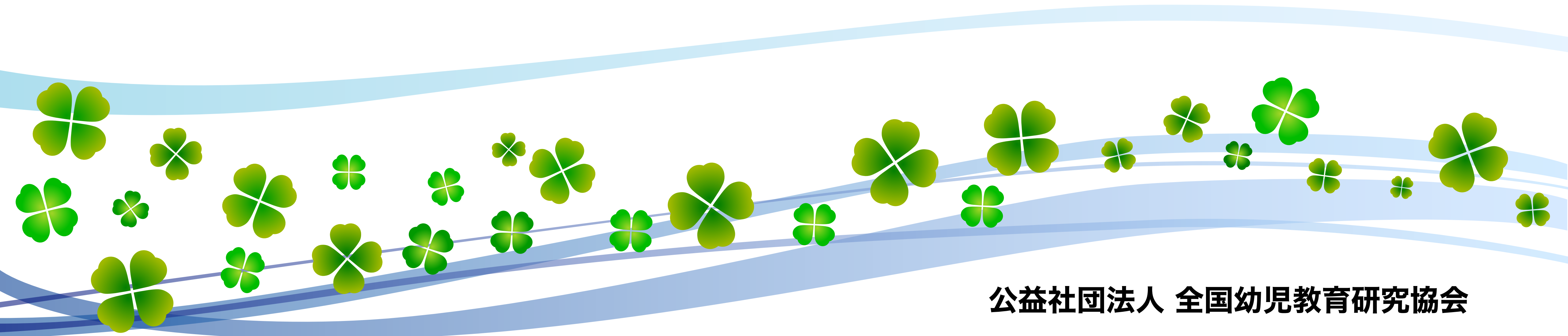
令和6年度 文部科学省委託「幼児教育の学び強化事業」

園と共に歩む幼児教育アドバイザーのための研修動画



第3巻

協議の充実のための支援



公益社団法人 全国幼児教育研究協会

はじめに

本研修動画の目的

研究協議において、保育者が語り合うことによって
新たな気づきや学びが得られるよう、ラベルワーク
の技法と効果を学びます。

第3巻の構成

- I ラベルワークとは
- II ラベルワークの実際
- III ラベルワークの留意点

I-1 ラベルワークとは

誰もが話しやすい協議の技法



- ・意見を可視化する
- ・発言の平等を保障する
- ・誰もが意見を出しやすい
- ・どの意見も認められる

I-2-(1) ラベルワークの技法（進め方）

- 1 付箋に思ったことや感じたことを自由に書く
- 2 それぞれが書いた付箋を模造紙等に貼る
- 3 同じ意見をまとめて整理する
- 4 意見や気づきを書き加える
- 5 子供の姿・環境の構成・保育者の援助との関係性などを構造化する
- 6 発表する
- 7 明日の保育の手掛かりを得る

I-2-(2) ラベルワークの技法 (進め方)

1 色分けした付箋に思ったことや感じたことを自由に書く

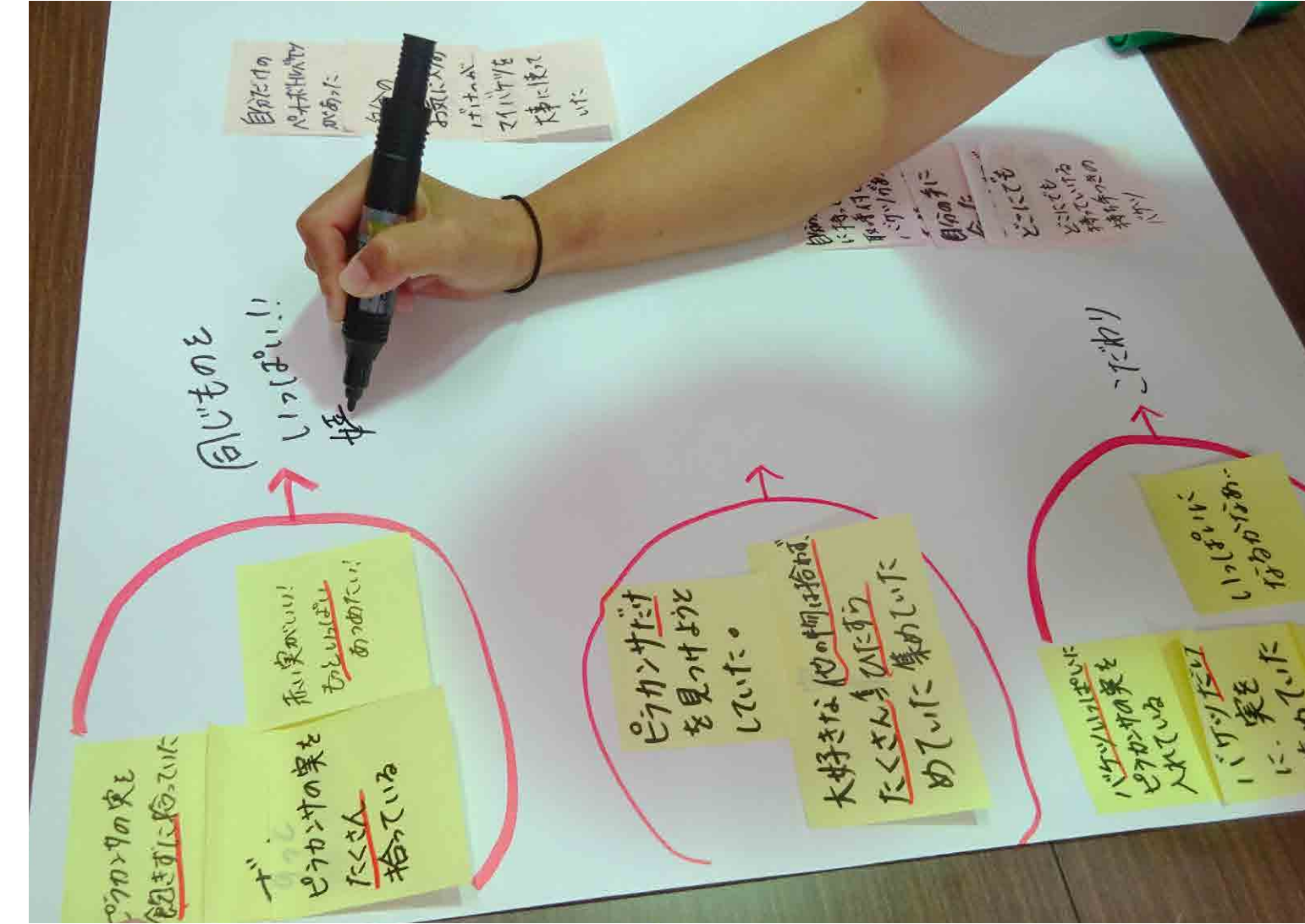


2 それぞれが書いた付箋を模造紙等に貼る

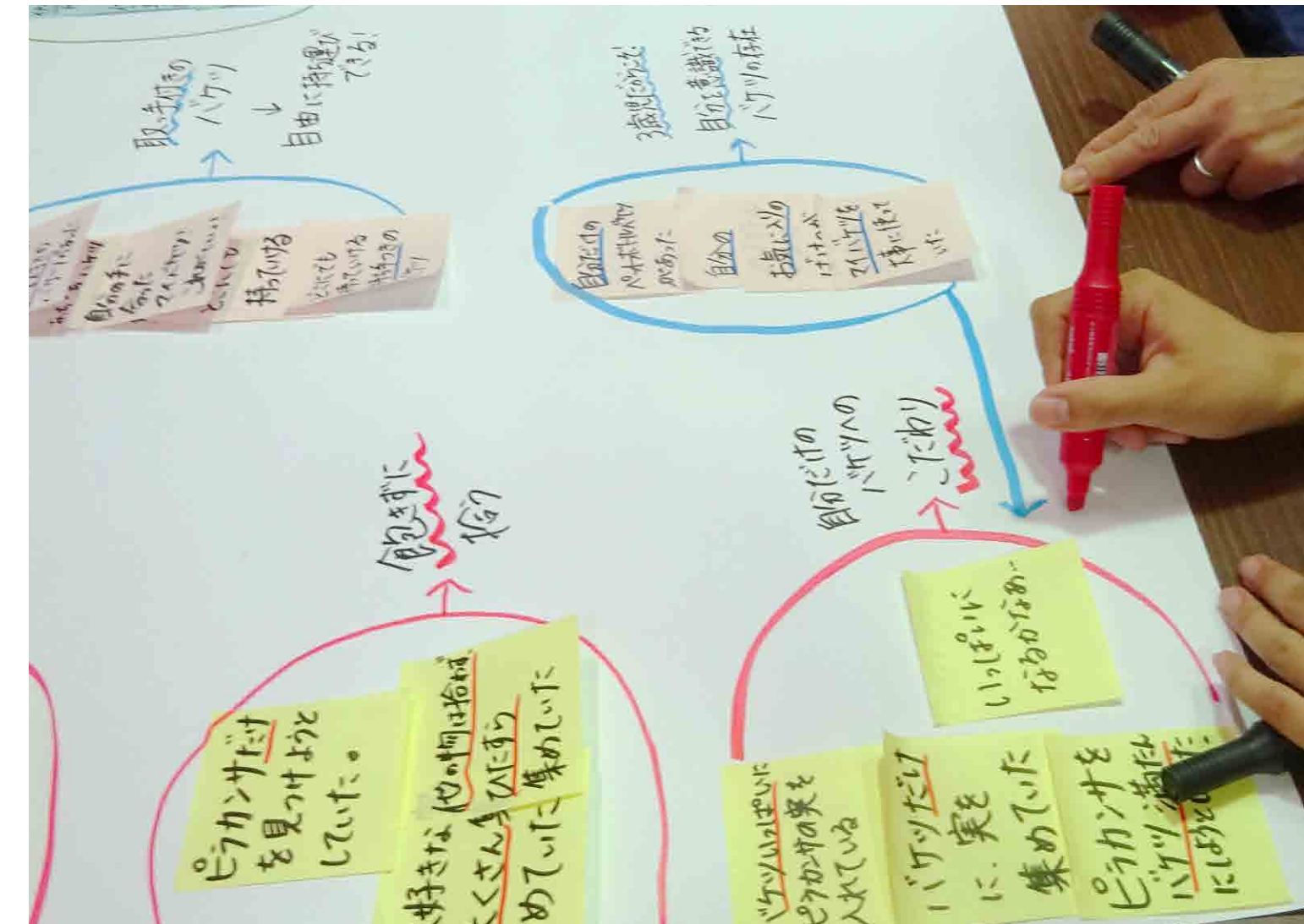


I-2-(3) ラベルワークの技法 (進め方)

3 同じ意見をまとめて整理する



4 意見や気づきを書き加える

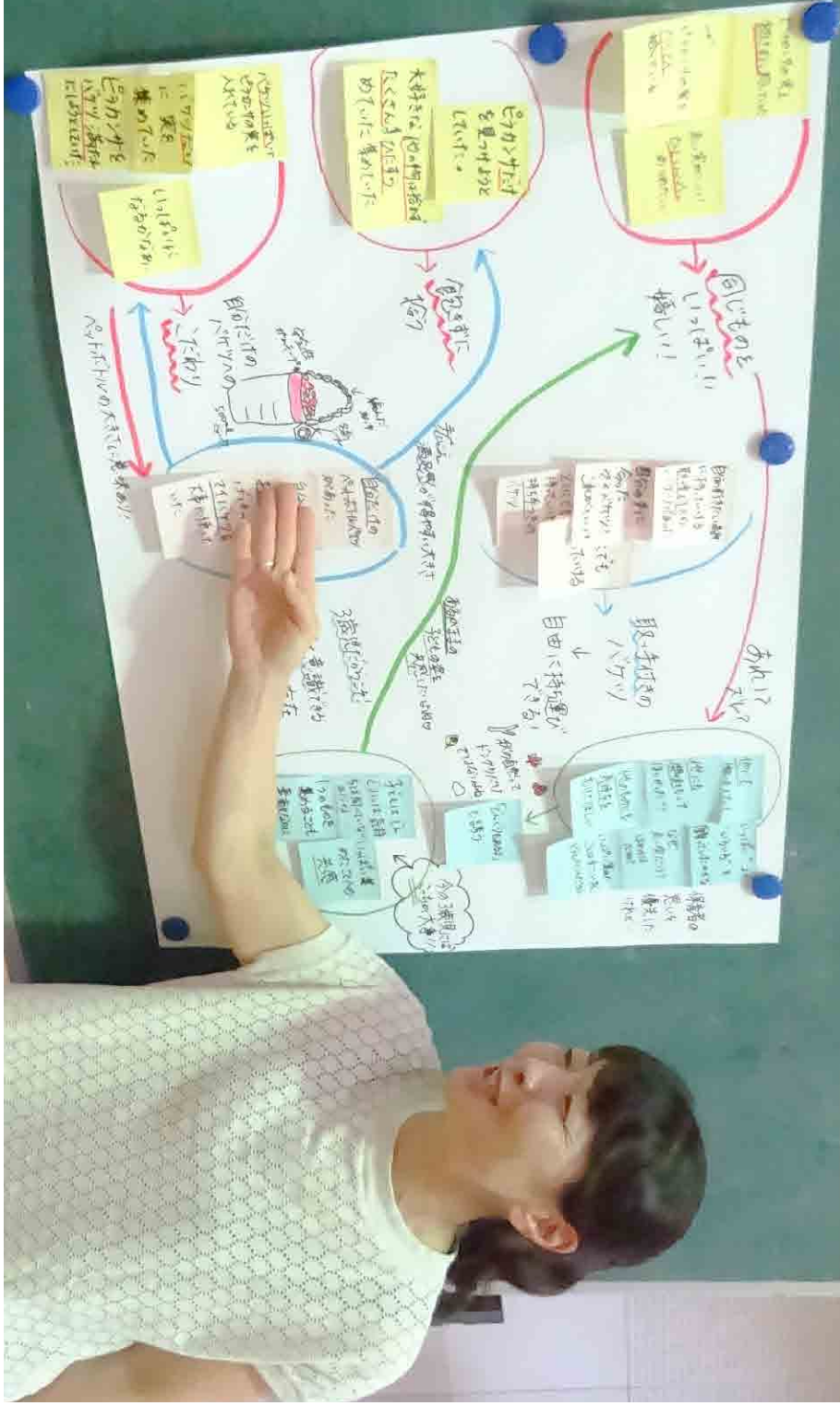
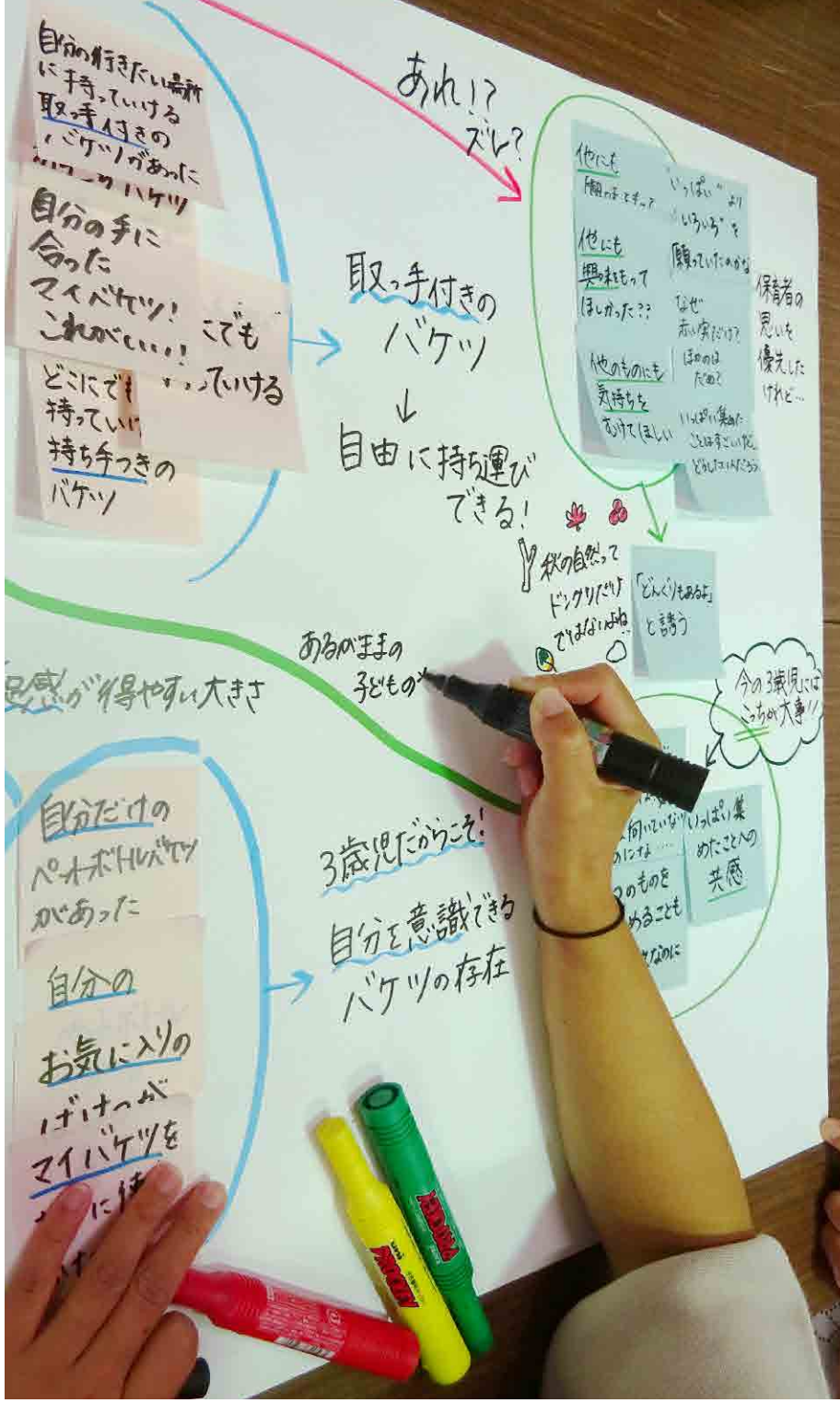


I-2-(4) ラベリングワークの技法 (進め方)

5 子供の姿・環境の構成・保育者の援助との関係性を構造的に捉える

6 子供の姿・環境の構成・保育者の援助との関係性などを発表する

7 明日の保育の手掛かりを得る



Ⅱ ラベルワークの実際 ～自然物を集める 3 歳児の事例～

時期 ● 11月中旬

ねらい ● 秋の自然に興味をもつ

内容 ● どんぐりや木の葉を集める



※「発達を理解する」という園のテーマに沿いながら、この事例を取り上げる。

Ⅱ-1 遊びの様子

秋の自然にかかわる子供の姿

- ・木の皮を拾い「木の洋服だ」と木の皮をパズルのように合わせている
- ・木の根っこを見つけ「うんとこしょ・どっこいしょ」と引っ張っている
- ・ペットボトルバケツに木の枝等を拾っている
- ・ピラカンサの実をいっぱい集めたり実をつぶしたりしている



Ⅱ-2-1 色分けした付箋に自由に書く

ピラカンサの事例

意見の可視化

3歳児の発達の姿・環境の構成・保育者の援助について、自分の思ったことや感じたことを自由に色分けした付箋に書き出す。時間を設定しておく。

例えば…

子供の姿

環境の構成

保育者の援助

➡ 記入した付箋を模造紙に貼っていく。

Ⅱ-2-2 書いた付箋を模造紙に貼る

まずは自己紹介をしましょう。



Ⅱ-2-2 書いた付箋を模造紙に貼る



今日は、保育を見ていただいて
ありがとうございました。

よろしくおねがいします



子供たちの様子を出し合って
みましましょうか。まず、付箋に
書いて模造紙に貼ってください。



Ⅱ-2-2 書いた付箋を模造紙に貼った内容

ピラカンサの実を
飽きずに拾っていた



自分だけのペットボトルの入れ物
があって集めやすそうだった



ピラカンサの実を
いっぱい拾っていた



バケツに取っ手が付いていて、大事そう
に行きたいところに持って行っていた



入れ物がいっぱい
になるまで拾っていた



テーブルがあり、実をつぶしたり、
それを友達がみていた



ピラカンサの実を
トマトに見立てていた



周りの子供たちが見に来て、
みんなでテーブルを囲んでいた



トマト・トマトと
言っている



ピラカンサの実をつぶし、
トマト! と思って
嬉しそうに保育者に伝える



ピラカンサの実を集め
つぶしている場面



Ⅱ-2-3 同じような意見をまとめて整理し 4 意見や気付きを書き加える(行動の意味の読み取り)

ピラカンサの実を
飽きずに拾っていた



3歳児担任

ピラカンサの実を
いっぱい拾っていた



4歳児担任

入れ物がいっぱい
になるまで拾っていた



5歳児担任

ピラカンサの実を
トマトに見立てていた



3歳児担任

トマト・トマトと
言っている



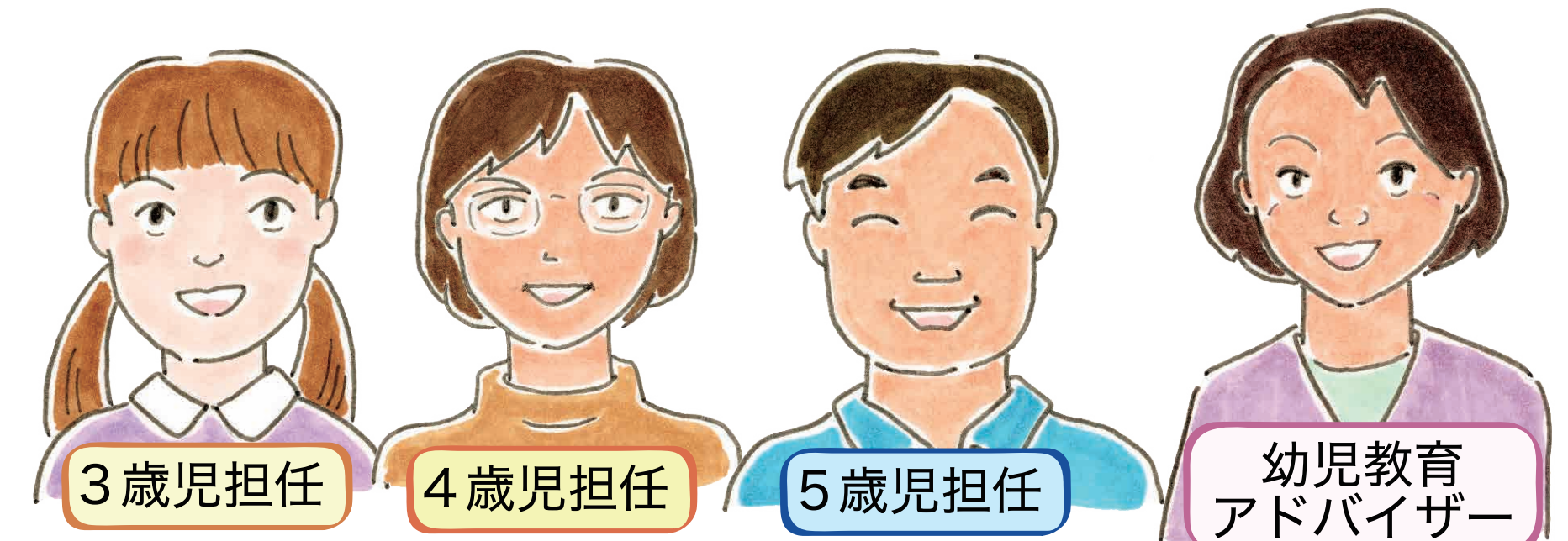
4歳児担任

ピラカンサの実をつぶし、
トマト! と思って
嬉しそうに保育者に伝える



5歳児担任

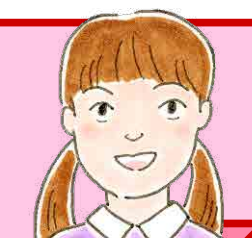
- ・ 同じものを飽きずに拾う
- ・ バケツいっぱい拾う
- ・ いっぱいになることが嬉しい



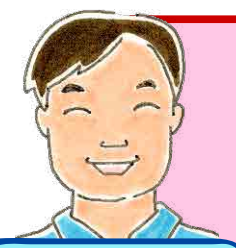
- ・ ピラカンサの実をつぶすと中から種が出ることからトマトに見立てる
- ・ 変化に気付く
- ・ 友達の様子に興味をもつ

Ⅱ-2-3 同じような意見をまとめて整理し 4 意見や気付きを書き加える(行動の意味の読み取り)

自分だけのペットボトルの入れ物
があって集めやすそうだった



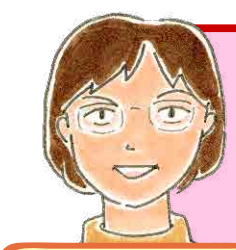
3歳児担任



5歳児担任

バケツに取っ手が付いていて、大事そう
に行きたいところに持って行っていた

- ・ 自分で自然物を集められる取っ手付きのバケツは3歳児に適切
- ・ 4月から使っているマイバケツであり親しみがある



4歳児担任

テーブルがあり、実をつぶしたり、
それを友達がみていた

- ・ 観察したり、つぶしたりするのにテーブルが効果的であった
- ・ 他の幼児が集まり易かった



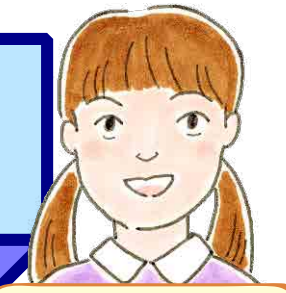
4歳児担任

園庭のどこで遊んでもよい雰囲気
いろんな種類の木が植わっていた

- ・ 園全体に広がる自由な雰囲気や豊かな自然環境が子供の興味関心を広げている

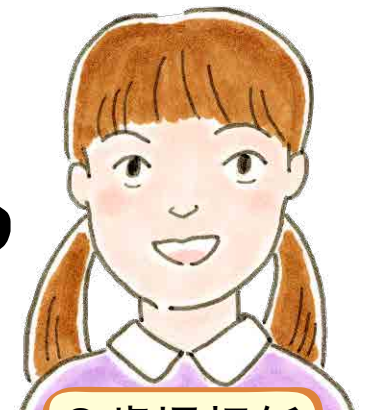
Ⅱ-2-3 同じような意見をまとめて整理し 4 意見や気づきを書き加える(行動の意味の読み取り)

「どんぐりもあるよ」と誘う



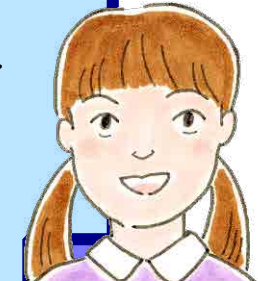
3歳児担任

保育者の思いを
優先してしまいそうになる



3歳児担任

子供は「トマト」と言っていたのに、
保育者は「トマト？」と疑問を感じて
いたのでは？



3歳児担任

子供の発想を大切に、
ありのままに受け止め
たいけれど難しい



4歳児担任

新たな気づきが
いっぱい楽しいですね

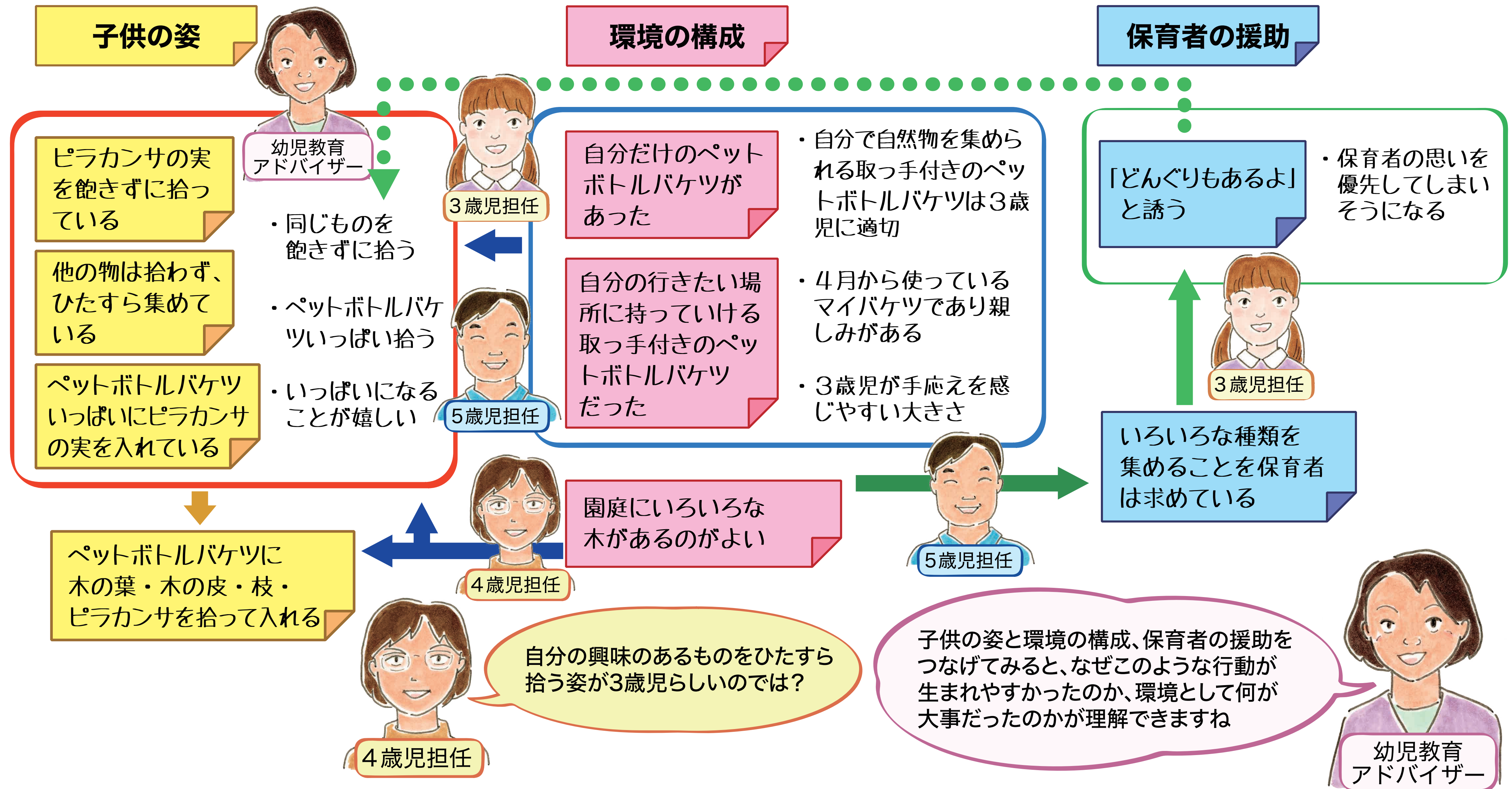


幼児教育
アドバイザー

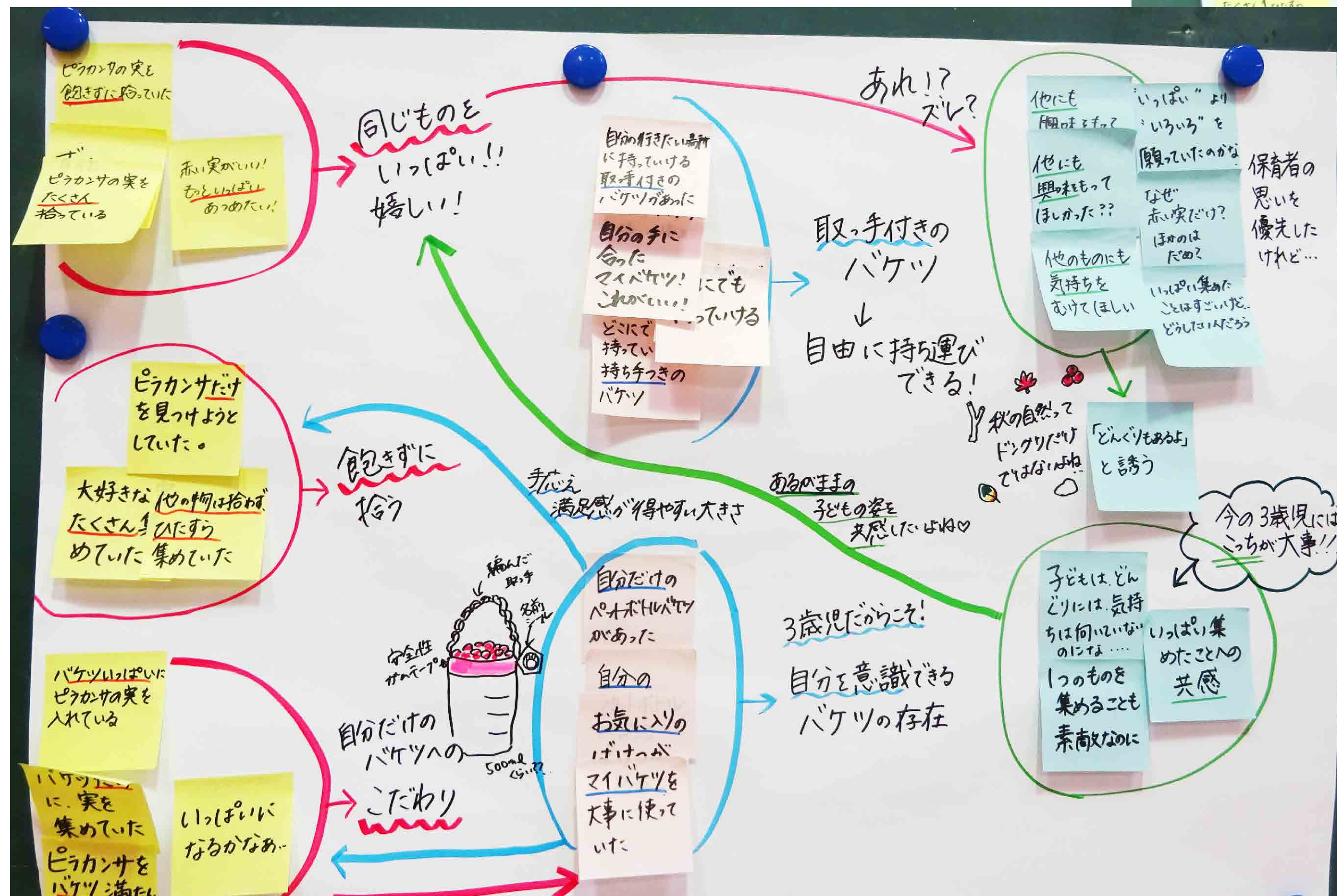
Ⅱ-2-5 関係性などを構造化する



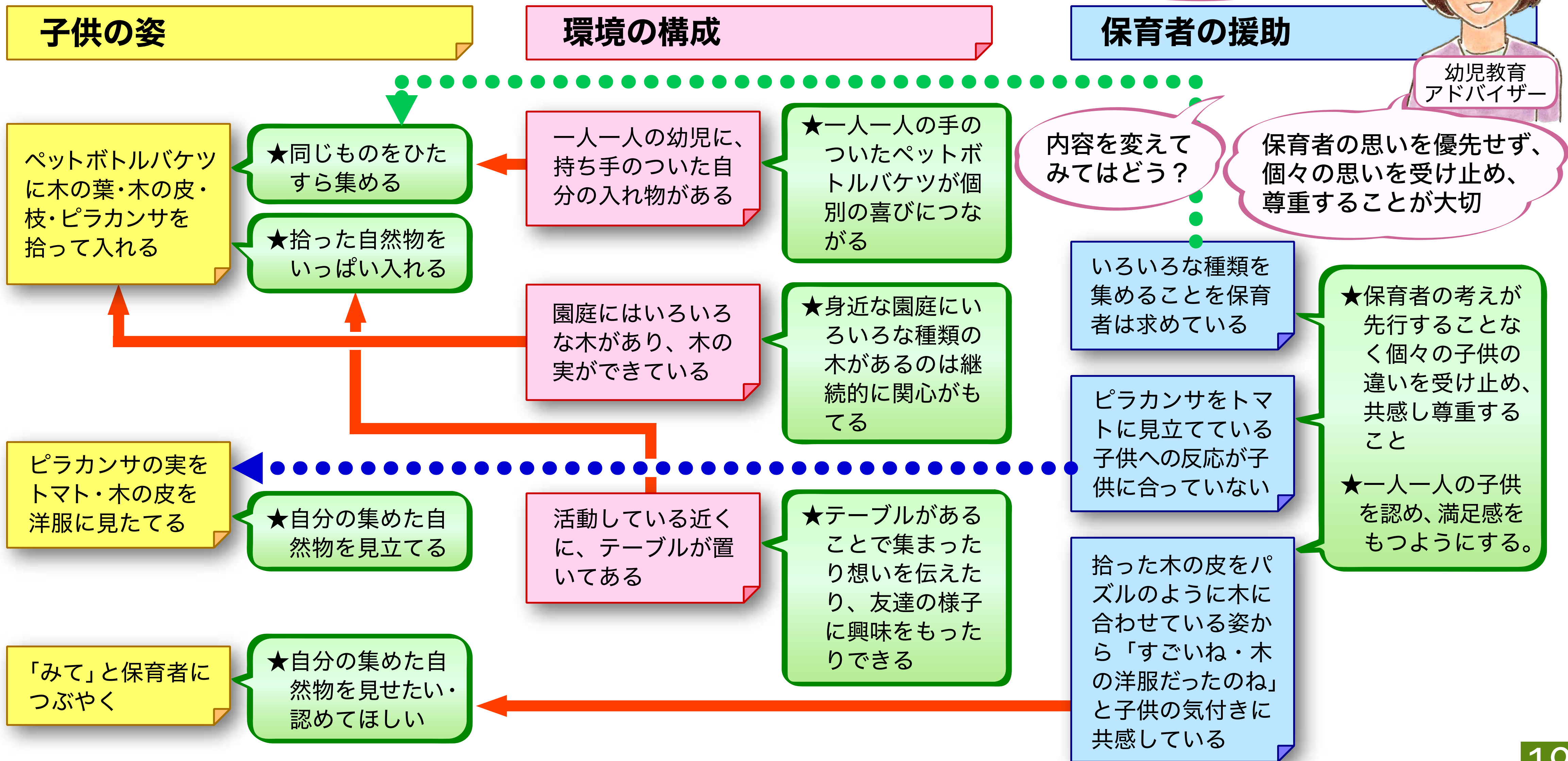
Ⅱ-2-5 関係性などを構造化する



Ⅱ-2-6 発表する



【関係性の構造図全体の紹介】



Ⅱ-2-7 明日の保育へのヒント



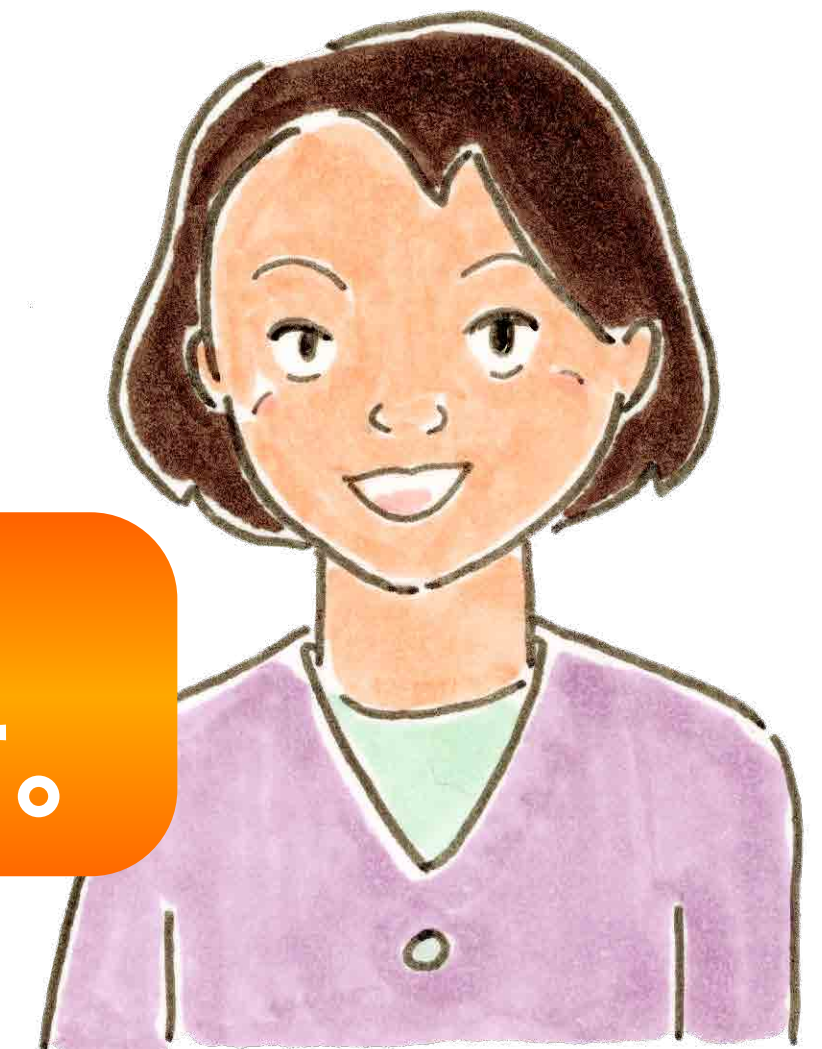
3 歳児の遊びの姿から、
発達が理解できましたか…

身近な自然物に興味をもつこと・個々の
子供たちが興味をもった内容が違うことを理解し、
保育者も楽しみたいと思いました。



3 歳児って、発想が豊かで楽しいですね。
こだわりもあるんですね。明日はどのような
ことに興味をもつかしら。
楽しみですね。

保育者は、その子らしい発想やこだわり
に寄り添い共に楽しみ、共感する心もちが大切です。



Ⅲ ラベルワークの留意点

参加者みんなで共有しよう

- 誰の意見も受け止めよう
- 今日の保育の学びや注目すべき発言を取り上げよう
- みんなの意見を重ね合わせよう

いろいろな意見が自由に出せる雰囲気づくりを大切にする。

おわりに

- 幼児教育アドバイザーは、具体的な子供の姿を通して、協議する楽しさを園の保育者と共有していく姿勢が大切である。そのために、協議に必要な技法を知り、生かすことが必要である。
- 訪問した園の課題や悩みに寄り添い、伴走しながら、子供のつぶやきや成長を捉え、園のよさや可能性を保育者と共有していくことが必要である。
- 協議が、各園のリーダーを中心に日常的に・主体的に実施されることを願いながら、園の状況に応じてサポートすることが大切である。



Decorative background featuring several blue birds in flight and wavy blue lines at the bottom.

公益社団法人 全国幼児教育研究協会

e-mail : admin@zenyoken.org

本研修動画及びスライド画面資料は、文部科学省の「幼児教育の学び強化事業」の委託費による委託業務として、公益社団法人 全国幼児教育研究協会が実施した令和6年度の調査研究の成果を取りまとめたものです。

したがって、本研修動画及びスライド画面資料の複製、転載、引用等には文部科学省の承諾が必要です。